

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス いもむし・おい		
○保護者評価実施期間	2025年1月22日 ～ 2025年2月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年1月22日 ～ 2025年1月24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	とても広い空間で子どもたちを受け入れることができる事。すぐに広い庭に出て遊ぶことができ、室内からも見守りができる環境。	体を思いきり動かせる部屋、工作やおもちゃを大きく広げて遊べる部屋、静かに本を読んだりゆっくり過ごせる部屋を設けている。安全面に気を付けている	・築年数が経っているため、定期的にメンテナンスを行う。 ・利用者の様子や状況に応じて、適宜部屋のレイアウトを考慮する。
2	管理者をはじめ、変わらない職員が長く在籍してくれる安心感があること。	色々な職員が様々な子に関わり、1人1人の情報を皆で把握していくようにしている。	成長を12年間見届けられるように、事業所としても職員のスキルを向上させ、支援を継続していけるように努力する
3	送迎も支援職員が行っているので、様子や学校の伝言等をタイムリーに伝えることができる	連絡帳は任意であるが、その日に気になったことやエピソードは保護者の方に送迎時に伝えるようにしている	利用者の様子や状況に応じて、適宜部屋のレイアウトを考慮する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お出かけや外食といったイベントを行うことができていない。	長期休暇中は地域の体育館を借りて過ごす時間を設けたりしているが、色々な場所に出かけることは、職員の配置の問題であったり、障害の度合い等によって、全員一緒に難しい。	高校生のメンバーで外食に出かけたり、小学生低学年のメンバーで地域の公園へ遊びに行ったりすることは、可能な日は行っている。しかし、その日の利用者全員で一緒に活動するのは難しいため、偏りがないように各個人に合った活動を考え、企画・実行していく
2	保護者に対してのアナウンスが行き届いていない（保護者会の開催・非常時について）	非常時の対応については、契約時に説明しているが、わかりやすい書面しておく必要がありそうである。保護者会についても、コロナ禍も落ち着いたので、検討していく。	・非常時のことに関しては、年2回の保護者面談で適宜説明する。書面にてお配りできるようにしておく ・保護者会の開催を皆一度にではなく、年齢やテーマに沿って開催するなど検討していく
3	行動障害によって、対応が難しい子が出てきてしまう。若い職員に負担が多くなりがち。	アクティブな遊びや運動などに関して、職員に偏りが出てしまう傾向があり、安全性を考慮すると、年齢による制約は避けられない部分もあるため、役割を把握し、チームとして構成していくようにする	児童発達管理責任者が対応を把握し、「こういうふうにしたうまくいったよ」と共有し、誰とでもできるようにする方向性を持つ。様々な子どもと関わりを持ち、支援内容をチームで検討しながら、子どもたちにとっても職員にとっても経験値が上がる支援を心掛ける。